

必要な機能	項番	必須	機能の詳細	備考	実現可否
1 利用者認証	1	必須	個人、団体の登録申請をオンラインで行うことができる		
	2	必須	個人、団体ともにID、パスワードによる認証でログインできる		
	3	必須	同一メールアドレスによる複数登録ができないこと		
	4		パスワード亡失時にメールアドレスなどにより再発行できる		
	5		マイナンバーカードによる個人認証機能があること	今後の拡張性	
2 施設案内	6	必須	施設の分類ができる	一覧表示、部屋の用途別絞り込みができる	
	7		施設ごとに階層を設けて案内できる	施設で貸し出しを行っている部屋の一覧が表示ができる	
3 空き状況参照	8	必須	ログインの有無に関係なく施設(部屋ごと)の空き状況が参照できる		
	9	必須	カレンダー形式の表示から空き状況が参照できる		
	10	必須	施設を指定して空き状況を参照できる		
4 施設予約(利用者側) (ログイン必須)	11	必須	空き状況参照から予約画面へ遷移、または同画面で予約できる		
	12	必須	同じ時間帯の同施設内の複数部屋を同時に予約できる		
	13	必須	利用目的、人数を入力できる		
	14		予約と同時に減免申請できる		
	15	必須	予約申請時に利用者メールへ通知される	メール内容は管理者が自由に編集ができること	
	16	必須	予約確定時に利用者メールへ通知される	メール内容は管理者が自由に編集ができること	
	17		予約時に料金の表示がある		
5 施設予約確認・変更(利用者側) (ログイン必須)	18	必須	利用者が自分で予約した情報を確認できる		
	19	必須	予約のステータス(仮予約・使用許可等)が確認できる		
	20	必須	予約の変更、取消が利用者側でできる		
6 利用者管理	21	必須	管理者側で利用者情報の登録・変更ができる		
	22		利用者区分ができる	スポーツ少年団、中学校部活、スポーツ協会会員、芸術文化協会会員 など	
7 施設管理者管理	23	必須	施設ごとに異なる施設管理者(所管課)を設定できる		
	24	必須	施設管理者(所管課)ごとにID、パスワードでの認証ができる		
	25		施設管理者IDはマスター権限で作成することができる		
8 予約設定・管理(管理者側)	26	必須	施設によって異なる貸出時間枠を設定できる	最低予約可能時間枠は30分単位	
	27		1日、1週間、1か月の予約状況を見ることができる		
	28	必須	休館日、特定の部屋の利用中止など施設管理者(所管課)で設定できる		
	29		管理画面内で予約者に予約完了、料金の通知等各種連絡を行うことができる		
	30		1IDにつき予約上限数を設定することができる	上限項目:日数、部屋数など	
	31		利用者の予約実施日時等の履歴(取消も含む)がわかる		
	32	必須	利用者予約可能期間に関わりなく施設管理者(所管課)で予約操作ができる	利用者は1年～1か月前から、管理者は無制限 など	
	33	必須	施設別に予約開始時期の設定ができる		
	34		代行登録(既登録者の窓口での代行予約)ができる		
	35		繰り返し予約ができる		
	36		利用後(当日)の利用実績を入力できる	利用日であれば利用開始前でも実績入力できること	
	37		抽選機能がある		
	38		スマートロックと連携することができる	今後の拡張性	
9 運用管理	39	必須	利用情報のデータをCSVでダウンロードできる		
	40	必須	1予約ごとに帳票の出力(PDF推奨)ができる	帳票の形式は任意だが、予約情報が網羅されていること	
	41		利用データの保存期間は1年以上とする		
10 その他	42	必須	PC、スマートフォン、タブレットなど、どの端末でも操作に支障がない		
	43	必須	管理者用のサポート窓口がある	電話、メール等によるサポート	
	44		オンライン決済の機能がある(クレジットカード)	今後の拡張性	
	45		オンライン決済の機能がある(クレジットカード以外)	今後の拡張性	

※実現可否は「○:標準装備でできる」、「×:対応できない」、「△:オプションでできる」を記入してください。
※「△:オプションでできる」の場合は、設定費用を見積もりに明記してください。